

# 石の上にも三年

日本電波塔株式会社 代表取締役社長

前田 伸まえだ しん



昭和62年慶應義塾大学法学部卒業。同年(株)大阪銀行(現・近畿大阪銀行)入行。平成4年(株)マザー牧場代表取締役社長就任(現任)、平成17年日本電波塔(株)代表取締役社長就任(同)、同年、全日本タワー協議会会長就任(同)、平成19年(株)エフエム東京取締役就任(同)。

千葉県から、東京へ……東京タワーを運営する日本電波塔株式会社社長になり、まもなく三年がとうとうとしている。

マザー牧場などを運営して、観光事業や地域開発事業を手がける千葉県の会社から「東京タワー」へ活動の舞台は広がった。二人の社長の相次ぐ逝去により、突然の社長就任。準備は何もできてはいなかった。

まず最初に励ましてくれたのは、千葉県の友人たちである。社長就任の翌日に開催された中山競馬場、千葉関連イベントの席上にてかねてより懇意の新聞記者さんたちは、突然私の「東京タワー社長就任」を知らされ、ペンを走らせた。そして、当日のG.I.レースより大きな記事で取り上げた紙面さえも出た。千葉発の「東京タワー社長就任」のニュースは、特ダネ?かどうかは別にして、挨拶状の準備も何もできてはいない私に、貴重な新聞辞令をプレゼントしてくれたのだ。そして、次に応援くださったのは全国

にあるタワーの仲間である。一九タワーで組織している全日本タワー協議会は、年二回全国各地のタワーに集合。私が参加してから三年間、一タワーもかけることはない。妖怪ロード・水木しげるの街・境港の夢みなとタワーや、荒波打ち寄せる犬吠埼・銚子タワーなどローカル色濃いタワーも絶妙な個性を発揮する。また日本構造設計の父、内藤多伸博士の設計から生まれた名古屋・札幌・通天閣・東京のタワー四兄弟。ここでは高さ三三三メートルで昭和三三年生まれの東京タワーも末弟である。しかし、その知名度とは裏腹に全国のタワーの経営規模は小さく、その年間収入は東京タワーですら五〇〇六〇億円、二〜三億円の収入で懸命に運営されているタワーもある。

映画「三丁目の夕日」や「東京タワー」で取り上げられた東京タワーブーム、「ピリケン」人気の通天閣などが先導するかたちで、いま全国のタワーに「展望施設」

としてだけではなく、街の「ランドマーク」として頑張ろうとする気運が起きている。長兄である名古屋テレビ塔の大澤社長の発案で、一昨年より一〇月一日を「展望の日」と定め、一九タワー共同によるキャンペーンを開始。今年の「展望の日」には、一九タワーのシールが付いたオリジナルメモ帳を一斉配布するなど、共同イベントを企画する。

また、私どもの「ノッポン」をはじめ、さっぽろテレビ塔「テレビ父さん」、五稜郭タワー「GO太くん」、東山スカイタワー「のっぴー」、京都タワー「たわわちゃん」、空中庭園展望台「そららちゃん」、通天閣「ピリケン」、福岡タワー「フータくん」等、個性的なキャラクターが続々と誕生。時代に押し流されることなく、人々の記憶に刷り込まれていく「愛されるタワー」を全国の仲間たちと共に目指したい。

次号は、リッキービジネスソリユーション(株)代表取締役、澁谷耕一氏にお願いします。



(敬称略) 小長啓一→野々内隆→根来泰周→石弘光→武藤敏郎→高橋温→増田寛也→西澤潤一→内田盛也→中原恒雄→今井敬→室伏稔→上島重二→西室泰三→依田 巽→重延浩→吉村作治→中川武→池内克史→中島秀之→元村有希子→石倉洋子→内永ゆか子→秋池玲子→富山和彦→五藤信隆→伊藤公平→吉田晃→森浩生→井田純一郎→前田伸

※本コーナーは、弊会ホームページでもご覧頂けます。